

木間唯一

（本名）

文藝評論家。

明治四十一年十一月、二月新潟縣生乳

昭和二十四年四月、百妓（一九九一—九五）。筆名和井英一。昭和七年大谷

大學卒。十年唯物論研究會加入、十二年唯濟事件の檢舉、出所後伊藤

書店編輯長、戦後日本共產黨入黨。

著書『文藝學』（昭和十一年六月十五日、二宮書房「唯物論全書」）、

『短歌論』（昭和二十二年一月、千代洋藤書店）、『文藝學の諸問題

』（石山徹郎記念論文集）』（合著・文藝學談話會編、昭和二十二年七

月十五日建設社）、『回想の戸坂潤』（合著・二宮書房編集部編、昭

和二十二年十月、千五百京都・二宮書房）、『宮本百合子研究』（合

著・戸谷俊一編、昭和二十七年一月、千五百春潮社）等。